

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	黒岩地区 (鹿狩瀬集落、大野集落、妙集落、桑平集落、宮長集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	47.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	47.1 ha
② 田の面積	43.5 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	10.7 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	30.9 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.5 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化が顕著であり、新たな農地の受け手の確保が必要となる。

持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めていく必要があるため、新規就農者などの担い手を地区内外から呼び込み、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。また分散錯圃の解消による農作業の効率化、高付加価値作物の導入等により農業者の所得向上を図る必要があるため、インフラ整備による農地の条件向上(取水口や用排水路、ポンプ等、老朽化した農業施設の修繕や多雨時期の浸水対策、暗渠排水による畑地化等)を検討していく必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻を主要作物としつつ、ブランド化による高付加価値化を図るため、行政やJAとの品質管理や品種改良に取り組む。(鹿狩瀬集落)

水稻と飼料作物を主要作物としつつ、インフラ整備による農地の条件向上に取り組む。また経営農地の集積・集約化を進めることで農業経営の基盤を整え、新たな担い手の効率的な農地利用を進める。(妙、大野、桑平集落)

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクを活用し、担い手(認定農業者等)に農地を集積・集約化する。また、担い手の農作業に支障がない範囲で、担い手以外の農業者にも農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	22.9 %	将来の目標とする集積率	41.6 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

担い手へ農地面積の集約化を進め、団地数の半減および団地面積の拡大を進める。(令和16年度)

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
農地利用最適化推進委員や機構の駐在員らと連携し、認定農業者や認定新規就農者を中心に農地の集積・集約化を進め、団地面積の拡大を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
行政や関係機関と連携して農地バンクの貸付けを積極的に行い、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際、農地利用最適化推進及び機構の駐在員らと調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
農業経営の生産効率の向上や農地の集積・集約化を図るため、地区内農地の大区画化や暗渠排水、農道整備等の基盤整備に取り組む計画を立てる。また、多雨時期の水の管理が困難であるため、取水口や排水路の改修に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、各種補助事業の活用や農地の幹旋、栽培技術の支援サポート等に取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内で農作業の効率化を図るため、育苗作業を株式会社JA延岡地域農業振興支援センター、防除作業を延岡スカイサービス株式会社、稲刈り・乾燥・糶摺り作業を川原農園株式会社へ委託を進めることで、農業者の負担を減らし遊休農地の発生防止に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①鳥獣被害防護柵のメンテナンスや追加施工等を計画し、鳥獣被害対策の充実を図る。また、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築し、地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
⑦多面的機能支払交付金や生産組合等の地元組織を中心に農地や畦畔等の保安全管理に取り組み、営農環境の整備に努める。
⑧利水設備の保安全管理を徹底し、揚水ポンプの維持管理や更新、取水口の新設等を検討する。なお、計画策定及び事業実施にあたっては行政や関係機関と連携し、補助事業を活用することで地元負担の軽減を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	24経営体		23.4 ha	0.4 ha		34.1 ha	0.4 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	株式会社JA延岡地域 農業振興支援センター	育苗作業	水稻
2	延岡スカイサービス 株式会社	防除作業	水稻等
3	川原農園 株式会社	稲刈り、乾燥、粃摺り作業	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農		水稲、甘藷、飼料作物	1.3 ha	0 ha	水稲、甘藷、飼料作物	3 ha	0 ha	認農1	
2	認農		水稲、飼料用稲、もち米	2.2 ha	0 ha	水稲、飼料用稲、もち米	2 ha	0 ha	認農2	
3	認農		水稲、飼料作物	6.3 ha	0.4 ha	水稲、飼料作物	11.3 ha	0.4 ha	認農3	
4	認農		飼料作物	1.1 ha	0 ha	飼料作物	3.5 ha	0 ha	認農4	
5	利用者		水稲、飼料用稲	1.6 ha	0 ha	水稲、飼料用稲	1.9 ha	0 ha	利用者1	
6	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	利用者2	
7	利用者		水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	利用者3	
8	利用者		水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	0.8 ha	0 ha	利用者4	
9	利用者		水稲	1.2 ha	0 ha	水稲	1.1 ha	0 ha	利用者5	
10	利用者		水稲、露地野菜	0.2 ha	0 ha	水稲、露地野菜	0.5 ha	0 ha	利用者6	
11	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者7	
12	利用者		水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者8	
13	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者9	
14	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者10	
15	利用者		水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	1.4 ha	0 ha	利用者11	
16	利用者		水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	0.8 ha	0 ha	利用者12	
17	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者13	
18	利用者		水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者14	
19	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者15	
20	利用者		水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	利用者16	
21	利用者		水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者17	
22	利用者		水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	1.3 ha	0 ha	利用者18	
23	利用者		水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者19	
24	利用者		水稲	1.9 ha	0 ha	水稲	1.9 ha	0 ha	利用者20	